

挑戦なくして進歩なし



合同製鐵株式会社
代表取締役社長
美濃部 慎 次

「昨日のNYダウ平均はいくらだった？ マイク」

「ラッキー、今朝のWSJを見ておいてよかった。2,700ドルくらいでした。」

1990年10月、米国西海岸某ビジネススクールのファイナンスの授業冒頭での一幕である。

当時のわが日本の株価はというと、89年に日経平均は38,900円と過去最高値を更新した後、90年初から急落し、秋には25,000円程度まで落ち込んでいた。既にバブル崩壊の足音は確実に聞こえていたものの、いまだ日本経済は「ジャパン・アズ・ナンバーワン」ともてはやされ、ビジネススクールでもウォークマンの開発経緯を語る盛田会長のビデオが授業で使われたり、89年の三菱地所によるロックフェラーセンターの買収が話題になったりしている状況に少々複雑な思いを感じたのを思い出す。

それから36年を経た現在、日本の株価は50,000円を超えようやく上昇気流に乗りつつあるが、コロナ禍明けのつい3年前にはいまだ25,000円強と36年前とほぼ同水準であった。これに対して米国の株価はどうだろうか。マイクが正解した90年時点の株価から大幅に上昇して、現在NYダウは約47,000ドル程度と、36年前の実に18倍の数字になっている。